

定例市議会

6月11日(金)から30日(水)まで6月定例市議会が開催され、約9457万円を減額する一般会計補正予算案など25議案が可決・承認され、1議案が継続審査となりました。朝長市長が報告した市政の重要事項と併せてお知らせします。

補正予算の概要

一般会計では国の補助決定に伴い、公共事業費や水道事業出資金などに1億1312万円を減額するとともに、10月に設置する「市総合教育センター」の管理運営経費(1605万円)や、小・中学校の耐震対策事業費(1900万円)、篤志家(※)からの寄付に伴う基金造成費(1000万円)などを計上し、合計で9457

◎補正予算総括表

会計	補正額 (補正後の額)
一般	△9457万円 (1096億8302万円)
特別	△3229万円 (703億5027万円)
企業	△4億6199万円 (334億4422万円)
合計	△5億8886万円 (2134億7750万円)

万円の減額補正となりました。また特別会計と企業会計も一般会計と同じく公共事業費の減額が主なものとなっています。
※篤志家＝社会奉仕や慈善事業などを実行、支援する人。

主な条例

佐世保市景観条例制定の件

本市における良好な景観の形成を促進するため、景観計画区域内における届出対象行為や届出前の事前協議制度などについて定めるもの。

佐世保市立小学校及び中学校条例の一部改正の件

旭中学校と花園中学校を統合し、新たに祇園中学校を設置するもの。

しながら検討させていただくことになる」旨を申し上げました。

長年の懸案事項などを説明

本市には自衛隊や米軍基地が所在することによる、長年解決していないさまざまな問題、課題があります。具体的には、国との約束が延び延びになっている前畑・崎辺道路の整備や、米軍が所在することで佐世保港面積の約83%が24時間365日、立ち入り禁止をはじめとするさまざまな制限を受け、漁業に支障を来していることなどです。これらについて

も外務大臣に強く訴えました。さらに終戦直後、佐世保市は旧海軍の港湾施設などの返還に伴い、市



主な重要事項の報告

いわゆる国の

「密約」について

意見書を

首相と外務大臣あてに提出

本市に関連の深い「核持ち込みに関する密約」については、外務省の説明(3月9日)を受けた上で、さらに確認すべき事項があるとして、議会では「佐世保港内あるいは市内米海軍施設への核の持ち込みがあったのか」をはじめとする6項目の質問に関する意見書を3月定例会で採択され、また市でも3項目の質問をとりまとめ、4月5日、正副議長、基地対策特別委員会正副委員長とともに、首相官邸と外務省に赴き、鳩山首相と岡田外務大臣あてに提出しました。

外務大臣が

佐世保市民に謝罪

これを受け4月24日、岡田外務大臣が直接本市を訪問され、議会と市から提出された質問事項について、文書で回答がなされるとともに、口頭でも補足説明がなされました。

大臣は「米海軍基地を擁し、艦船を受け入れている本市のこれまでの歴史や置かれた立場を重視し、直接回答・説明に来るべきであると判断した」と述べられ、さらに私をはじめ歴代の市長が、これまで国からの説明をよりどころとして市民に国策への理解と協力を求めてきたことについて、「広義の密約の存在を知りつつ、うその説明を繰り返した」となど国として不誠実な対応があったこと」を認め、歴代市長にも言及された上で、佐世保市民に対し国と

固たるものにしていくためには、説明責任をしっかりと果たし、これらの諸課題の解決に向け、積極的に取り組んでいただくことが必要であるとも申し上げました。

これらの課題を解決するためには、外務省だけでなく関係省庁を横断する政府一体となった積極的な対応が必要で、そうしたことから私は、本市の実情を内閣総理大臣にお話する機会を設けてもらうように、岡田外務大臣から働き掛けていただきました。これに対し大臣から「本日の要望

に関しては、次回の閣議後の懇談会で話をする」との回答があり、その後、大臣が4月27日の懇談会で本市の要望を報告され、関係閣僚に配慮を求めた旨、外務省から連絡がありました。

今後は今回の回答や説明を踏まえ、た上で、議会とも協議をしながら、国に対して、要望を含めた対応などについて検討していきたいと思います。



回答書を朝長市長に渡し(上)、国の考えなどを話す岡田外務大臣(下)。佐世保市役所庁議室

いることも説明しました。また、市民が国に対する信頼を取り戻し、国が安全保障にかかる地域基盤を確

6月定例市議会の詳細は「市議会だより8月号」でお知らせします。また議案の提案理由や重要事項報告の全文は、市ホームページ「市長の部屋」に掲載しています。

※継続審査になった条例
【佐世保市景観条例制定の件】